



第570号

令和6年11月1日

公益財団法人 千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会  
〒102-0075 千代田区三番町2  
電話 03 (3261) 6700  
FAX 03 (3261) 6712



http://www.boen.or.jp  
郵便振替口座 00140-2-42556

編集人 中村 勤  
発行人 杉本 順則



ご臨席された常陸宮妃華子殿下

# 令和6年度千鳥ヶ淵戦没者墓苑 秋季慰霊祭を挙行政 常陸宮妃華子殿下のご臨席のもと

10月18日、常陸宮妃華子殿下をお迎えして、「令和6年度千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭」が厳粛に執り行われた。式典には、内閣総理大臣（代理）をはじめ、ご遺族や戦友会関係者、厚生労働大臣、環境大臣、防衛大臣、政友会党首、駐日大使等、自衛隊の高官等、内外の多数の関係者（代理を含む）が参列し、今日の平和と繁栄の礎となられた先の大戦での全戦没者に対して感謝と哀悼の誠を捧げた。

式典は午後1時に開始され、奉仕会理事長柳枝宗男による開始式の辞のあと、航空自衛隊航空中央音楽隊の奏楽による国歌斉唱で開始された。引き続き、表千家流の小野弘子氏による献茶の儀が行われた。次いで奉仕会会長鈴木俊一（前財務大臣）の式辞を同副会長長草刈隆郎が代読し、全戦没者に対して心からなる感謝と哀悼の誠を捧げた。

次に、奉納行事は、吉永龍奏氏による昭和天皇の御製吟詠と琵琶演奏、次いで竹内一香氏（尺八安藤一感氏）による上皇陛下御製が吟詠され、続いて音羽ゆりかご会・海沼会長長の挨拶に引き続き小学生12名による「海ゆかば」、「いつかえる」及び「里の秋」の唱歌が奉唱され、広い苑内隅々まで響き渡った。



ご拝礼される常陸宮妃華子殿下

その後、石破内閣総理大臣の「追悼の辞」（内閣官房副長官佐藤文俊氏が代読）で「戦争の惨禍を二度と繰り返さないという決意を貫いていくためには、先の大戦の記憶を次の世代に継承していくかねばならない」との決意を述べられた。引き続き、常陸宮妃華子殿下が墓前に進まれご拝礼、黙祷され、それに合わせて参列者一同も拝礼、黙祷を行った。

その後、参列者一同に見送られながら退場された。続いて陸上、海上、航空の各自衛隊が一体となった統合部隊による拝礼が行われた。陸上自衛隊から第1普通科連隊（東京都練馬区）、海上自衛隊から下総教育航空群（千葉県柏市）、航空自衛隊から航空気象群をはじめとする各部隊（東京都府中市）及び原田悠生2等空尉を指揮者とする航空自衛隊航空中央音楽隊（府中市）が参列した。



内閣総理大臣追悼の辞（佐藤文俊内閣官房副長官）

最後に、祭主、総理大臣代理、日本遺族会会長、都府県各遺族会及び戦友会の代表、参列の来賓等60名余が献花し、奉仕会評議員小坂敬が締めめの献花を行って式典は午後2時15分、滞りなく終了した。じ後、参列者による焼香が行われた。

昨年引き続き、東京都隊友会会員71名の支援をうけ、また式典の司会進行をアナウンサーの阿南貴恵さんが務めた。なお、本紙2面に本慰霊祭の式次第と写真を掲載する。

終わりに、戦没者の御霊の安らかならんことを、ご遺族の皆様には、ご多幸を、心よりお祈りし、追悼の言葉といたします。  
令和6年10月18日  
内閣総理大臣 石破 茂  
（代読）内閣官房副長官 佐藤 文俊

式 辞  
本日ここに、常陸宮妃華子殿下の御臨席を仰ぎ、戦没者のご遺族並びに各界代表のご参列を頂き、令和6年度秋季慰霊祭を挙行政できますことは、誠に感激に堪えないところであります。終戦以来、本年はすでに79年目を迎えました。先の大戦におきましては、多くの同胞が祖国の安泰を祈念しつつ戦場に赴き、勇戦敢闘、戦火に散り、あるいは極寒、辺境の地において抑留中に一命を失われました。更に、また少なからざる一般邦人の方々が、戦闘に巻き込まれて、いたましくもお命を失いました。祖国を離れ、遠い異国の地で、愛するご家族、伴侶、子供、両親を、そして故郷の山河を思いながら貴い命を国のために捧げられた戦没者の心を想うとき万感胸に迫り、筆舌に尽くし難いものがあります。また、一方で愛しい方々を失われた御遺族の御心情を察するに、今なお耐え難い、深い胸の痛みを覚えるのであります。

一昨年二月に始まったロシアのウクライナ侵攻や中東での紛争など国際情勢の変化が激しい今日においても、私達は、平和で豊かな生活を享受しておりますが、それが戦没者の方々の犠牲の上に築かれたものであり、英霊の御加護によるもの（第二面につづく）

昭和天皇御製碑  
秩父宮勢津子妃殿下揮毫  
くにのためいのち  
ささげしひとりの  
こととおもへばむねせまりくる

上皇陛下御製碑  
常陸宮華子妃殿下揮毫  
戦なき世と  
歩みきて思ひ出づ  
かの難き日と  
生きし人々

内閣総理大臣 追悼の辞  
本日、常陸宮妃華子殿下の御臨席の下、千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭が挙行政されるに当たり、謹んで追悼の言葉を申し上げます。  
先の大戦では、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に眠られている三十七万余の方々を始め、多くの方々が、戦禍によって、あるいは戦後、遠い異郷の地で命を落とされまし。改めて、心より哀悼の誠を捧げます。  
終戦から79年の歳月が流れた今日、未だ帰還を果たされていない多くのご遺骨のことも、決して忘れません。遺骨収集推進法に基づき、国の責務として、一日も早くふるさとにお迎えできるような、全力を尽くしてまいります。  
今、私たちが享受している平和と繁栄は、戦没者の皆様の尊い命と、苦難の歴史の上に築かれたものであります。戦争の惨禍を、二度と繰り返さない。歳月がいかに流れようとも、先の大戦の記憶を世代を超えて継承し、この決然たる誓いを今後も貫いてまいります。歴史の教訓を深く胸に刻み、未だ悲惨な争いが絶えることのない世界にあって、今後とも、世界の平和と繁栄に能う限り貢献し、これからの世代のために、未来を切り拓いてまいります。

(第一面からつづく)

であることを片時も忘れてはならないと思います。

ここに静かに頭を垂れ、謹んで国難に殉じられた戦没者の方々に、心からなる感謝と哀悼の誠を捧げ、御冥福をお祈り申し上げる次第であります。

当千鳥ヶ淵戦没者墓苑には、現在、海外で戦没された方々で、お名前が分からない等のため、御遺族にお渡し出来ない御遺骨、三十七万六千九百九十一柱が奉安されております。御遺骨収容の努力は今なお続けられておりますが、今日未だ海外に百二十万人の御遺骨が残されており、一日も早い御帰還が果たされ、ご遺族の皆様にかかるの安らぎがもたらされることを祈念致しております。

私どもは、今後とも、当墓苑が全戦没者に対する慰霊奉賛の灯火を守る国民的聖苑として、これを確実に次の世代へと継承すべく努力を続けてまいります。終わりに今一度、戦没者の御霊に平安を、ご遺族の皆様のご多幸を心よりお祈りし、式辞と致します。

本日は誠に有り難うございました。  
令和6年10月18日  
公益財団法人  
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会  
会長 鈴木 俊一

(代読 奉仕会副会長 草刈 隆郎)



式辞 (草刈隆郎副会長)



国歌斉唱でご起立される妃殿下



祭壇



昭和天皇御製奉誦 吉永龍奏先生



献茶の儀 表千家流 小野弘子先生

慰霊祭式次第			
1	諸員参集		
2	常陸宮妃華子殿下御参着		
3	常陸宮妃華子殿下御臨場		
4	開式の斉唱		
5	国歌		
6	献茶		
7	式		
8	昭和天皇御製奉誦		
9	上皇陛下御製奉誦		
10	童謡唱歌奉唱		
11	追悼の辞		
12	常陸宮妃華子殿下御拝礼		
13	一同拝礼・黙祷		
14	常陸宮妃華子殿下御退場		
15	陸・海・空自衛隊部隊拝礼		
16	献花		
17	閉式の一般焼香		



童謡唱歌奉唱 音羽ゆりかご会



上皇陛下御製奉誦 竹内一香・安藤一感先生



献花する英国大使及び同武官



献花に向かう遺族会・戦友会代表



陸海空自衛隊統合部隊による拝礼



閉式の辞を述べる榊枝理事長



一般焼香



航空自衛隊航空中央音楽隊



長野県神社庁青少年 6年8月6日



甲飛喇叭隊 6年8月4日



大分県遺族会 6年8月14日



宮崎県遺族会 6年8月14日

各団体の慰霊参拝



福岡県遺族会 (1) 6年8月14日



宮城県遺族会 6年8月14日



佐賀県遺族会 6年8月14日



福岡県遺族会 (2) 6年8月14日



京都府遺族会 (1) 6年8月14日



長崎県遺族会 6年8月14日



京都府遺族会 (3) 6年8月14日



京都府遺族会 (2) 6年8月14日



石川県遺族連合会 6年8月14日



鹿児島県遺族会 6年8月14日



山形県遺族会 6年8月14日



熊本県遺族連合会 6年8月14日

各団体の慰霊参拝

### シベリア・モンゴル 抑留犠牲者追悼の集い

8月23日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑において、シベリア抑留者支援センター（代表世話人・有光 健氏）主催の「第22回シベリア・モンゴル抑留犠牲者追悼の集い」が約130名の参加を得て開催された。

本追悼の集いは、献歌として「異国の丘」の独唱が始まり、全員による黙祷のち、主催者代表挨拶としてシベリア抑留者支援センター世話人の西倉 勝さん（99歳）が「旧ソ連による強制抑留の原

因究明や責任の追及も放置されたままであり、戦後80年を前に課題解決に向けて国民的な議論を求めます」と訴えた。次いで、厚生労働大臣（代理）岡本利久審議官、海江田万里衆議院副議長、及び各党代表国会議員が追悼の言葉を述べた。また、シベリアで兄を亡くしている奥見 優子さん（80歳）が遺族代表として「望郷の念に駆られ今なおシベリアの大地に眠る方々の無念の叫びを背に感じています」と述べた。この間、衆参両議院議長からの弔電も紹介された。

最後に参列者全員による献花が行われ、厳肅な雰囲気の中に追悼の集いは終了した。

この追悼の集いは、スターリンが日本軍捕虜移送の秘密指令を出したとされる1945年8月23日を記憶に留めようと、毎年この日にシベリア抑留者支援センターが主催している。

厚生労働省によると、シベリアやモンゴルに抑留された約57万5千人のうち約5万5千人が抑留中に死亡した。



挨拶する西倉氏

### 浄土真宗本願寺派（西本願寺） 第44回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

9月18日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑において国会議員を含む来賓約60名及び門徒約1200名が参列して、浄土真宗本願寺派（西本願寺）主催「第44回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」が季節外れの残暑の中、厳肅かつ盛大に執り行われた。

追悼法要の冒頭、宗門関係学校の生徒作文の朗読・表彰式が行われ、「いのちの尊さ」と「非戦・平和の大切さ」をテーマにした生徒作文の表彰と朗読が行われた。最優秀賞には、中学生の部で竹村 紗南さんの「二つだけの命」、高校生で角谷 美玖さんの「言葉の意味を変えてしまった戦争」が選ばれた。

次いで、浄土真宗本願寺派総合研究所副所長の寺本知正氏による恒久平和への願いを新たにする主旨の法話が披露された。また、仏の教えが十方に響き渡ることを願って受賞生徒二人が平和の鐘を撞き、引き続き、宗門として恒久平和を強く願う追悼法要が行われ、最後に導師・中尾史峰築地本願寺宗務長が三奉請を執り行い追悼法要は終了した。なお、本法要は、1981（昭和56年）年から、先の大戦のきつかけの一つとなつた柳条湖事件の日（9月18日）に毎年開催している。



平和の鐘を撞く受賞生徒



法話する寺本氏

### 立正佼成会 千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要

9月22日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑において、立正佼成会主催「第66回千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要」が教団役員及び東京教区の会員約30名の参列のもと執り行われた。

本法要は、先の大戦をはじめ全ての戦争犠牲者に回向の誠を捧げ、平和の実現に向けて誓いを新たにすることである。慰霊法要は導師である川本東京教区長による読経供養に始まり、次いで回向文が奏上され、平和への決意を披露した。その後、焼香が行われ、最後に導師挨拶として川本東京教区長が「今、世界各地ではウクライナをはじめとして、

多くの方が戦争、紛争により毎日命を落としている。私たちも微力ではあるが、世界の平和を願いながら、家庭の平和、家庭の安寧を目指し進んでいきたい。また、亡くなられた方々への思いを馳せると同時に、私たちが平和で安寧に生き



川本東京教区長（右）による読経

られる世界にしていけることが、亡くなられた方々の喜びに繋がるのではないかと「思う」と述べた。

立正佼成会は、当墓苑が昭和34年創建されて以来、毎年秋のお彼岸の中日に「千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要」を開催している。

#### 参拝して想う（休憩所のノートより）

○大学の授業の課題のため、参拝に来ました。私の曾祖父や叔父は戦争に参加していたため話を聞いたことはあつたのですが、自分が思っていたよりも、多くの方が犠牲になつていたと知り、二度と戦争をしてはいけないと思ひました。今の日本は爆弾や飢えで人が亡くなることは少ないけれど、それはあたりまえでなく、守り続けていく必要があると思ひました。日本を守るために戦つてくれた先人に感謝して大切に一日を生きていきま

す。大学の授業がなければ来ることはなかつたと思うと、より多くの若者に来ていただき、過去のことを知ってもらう場として広まってほしいと思います。自分のまわりだけではなく、遠いところでも平和な世界になりますように。

6年5月 大学生（21才）  
○神奈川県立綾瀬高校の46期生は修学旅行で広島に行きました。79年前の8月6日に起こったことを学び、平和の尊さを強く感じました。私達は今年度成人なり、これからの日本を作っていきます。平和の道を進んでまいりますと、ここに眠る方々に今日お伝えしたくて参りました。平和の道を進む。歩んでゆきましょう。綾瀬高校の総意でありますので、無作法かもしれませぬが、生徒会長として記名させて頂きました。ここに眠られている方々、どうか安らかに眠り下さい。心から心からお祈り致します。

6年8月 綾瀬高校生徒会長

○奉仕会年度会費納入者（団体・個人）（敬称略、順不同）  
吉倉 靖、東 美保、花田雅弘、石川正英、稲荷智則、荒川 勉、野澤和浩、加藤憲一、滝沢幹雄

○新入会員（敬称略、順不同）※永は永代会員、正は正会員、終は終身会員  
（二社）全日本フルコンタクト空手コミッション（永）、沖田康宏（終）、河野哲也（終）、山賀芳紀（終）、芳賀 満（終）、森田イッ子（終）、浅海廣積（終）、伊集院兼一（終）、豊村信夫（終）、本多正昭（終）、星野桂一（終）、佐田康昭（終）  
エースパワー（株）（永）、和田信之（正）、一宮 亮（正）、多田昌司（正）、小松稔之（正）

○奉納、参拝団体・参拝者（敬称略、順不同）  
クラスノヤルスク遺族会、シベリア抑留者支援センター、普明会教団、善隣教日蓮宗総務院伝道部、新日本宗教青年会連盟、解脱会、水交会、真の道、フォーラム平和・人権・環境、帝国華道院研究部、二尾礼子、上村淳子、佐藤光儀、佐藤律子、森山ミキ、多田 宏、永里太郎、清水孝子、阿形充規、柴田米実、秀平良子、東 佐知子、美山光庸、由美子、山本勝久、深田伊佐夫、多田昌司、株式会社秀拓、浄土真宗本願寺派、立正佼成会、川根本町遺族会、金光教曲楽会関東支部、日本パーカライジング株式会社、米原恭淳、富悠輝、大澤一久、渡辺和夫、萩小田廣男、翁玉恵、山田覚祥、内田十充、福井康夫、時田 章

○参拝団体（前項以外、敬称略、順不同）  
犬山市遺族会、狭山市遺族会、千代田区海洋少年団、喇叭伝承会、喇叭保存会  
○清掃奉仕（敬称略、順不同）  
阿含宗清掃奉仕、千鳥ヶ淵戦没者墓苑清掃奉仕会、櫻晴れ清掃奉仕会、千鳥ヶ淵戦没者墓苑トイレ清掃奉仕会

○献花台奉仕者（敬称略、順不同）  
草月流（高橋一美山）、古流正華道（菅沢千啓、谷本千裕希、岡田千瞳、岡田悠花、内田裕甫、中山実咲）、一翠古流（内藤理扇、糞輪理佳）、池坊壺宮式（下村柳泉、鈴木淑泉、吉岡いずみ）、柴山古流・縁山流（北川冷智、高畑冷恵、河合冷綾）、日新流（小田切博新、佐藤寿新）、未生流（里村紀甫、谷口信甫、深谷仁甫、小林美智甫、磯村悦甫、佐藤紀甫）、花古流（今井章悦、花田圓夕）

令和6年9月30日まで受付分を掲載、10月1日以降受付分は次号に掲載します。

### 終戦80年募金

1,440,000円

累計（6年9月30日現在）

288,000円

（8月1日から9月30日の間）

☆募金に協力された皆様（敬称略、順不同）

飯室幹雄、大須賀弘子、芹川いち子、加藤園栄、多田昌司、新井 茂、豊村信夫、原田正三、萩原秀邦、笠井稲子、長田勝治、一戸弥生、内田十充、渡邊榮三郎

（皆様のご芳志に篤く御礼を申し上げます）



### (公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会への入会のご案内

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会は、皆様のご支援に支えられ活動しています。当会では皆様のご入会を心からお待ちしております。

#### 1 会員の種類と会費

区分	名称	会費
個人	正会員	¥3,000/年
	終身会員	¥30,000 (入会時のみ1回)
団体・法人	特別会員	¥10,000/年
	永代会員	¥100,000 (入会時のみ1回)

#### 2 会費の納入 (納入要領は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会HPに記載しております)

- ①郵便局での振り込み
  - 郵便振替口座：記号・番号 00東京 00140-2-42556
- ②銀行での振り込み (住所・氏名はメール等で別途お知らせ下さい)
  - 振込先：りそな銀行 九段支店
  - 店番号：274
  - 普通口座：0831949
  - 口座名義：公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

#### 3 会員の特典

- ・2ヶ月に一回発行する広報紙「千鳥ヶ淵」(行事案内含む)を送付します。
- ・秋季慰霊祭へ希望すれば参加できます。(多数の場合抽選となります)
- ・永代会員名簿は、秋季慰霊祭で奉納されます。

### 終戦80年事業のお知らせとお願い

来る令和7年、終戦80年の大きな節目を迎えるにあたり、奉仕会は、創設の原点に立ち返り、戦没者の慰霊奉賛の気運が更に昂揚されるとともに、この灯火が末永く国民全般特に若い世代に継承されることを念願し、次の事業を令和6年度から実施しております。皆様のご協力を切にお願い致します。

#### 1 懸賞小論文(投稿文)を募集

- ・テーマ：「戦没者慰霊のあり方(慰霊の継承)」
- ・内容：年配者はいかに慰霊を若い人に伝えるか、若い人はそれをどのように受け止めるべきかなど。
- ・規定：メールまたは郵送で応募(努めてデータで)。字数は1200~2000字。ワード、A-4、横書き。(手書きの場合、400字詰め原稿用紙使用、鉛筆不可。)表紙に氏名(ふりがな)、年齢、〒住所、電話番号、メールアドレス、職業を明記。応募された原稿等は返却しません。また、著作権、編集権は当奉仕会に帰属します。二重投稿不可。
- ・資格：不問
- ・賞：最優秀7万円×1点、優秀5万円×2点、佳作3万円×3点(予定)
- ・審査：千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
- ・応募先：〒102-0075 東京都千代田区三番町二  
公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会  
メールアドレス：c-houshikai@boen.or.jp
- ・応募期間：令和6年7月から令和7年1月末
- ・問合せ先：メールアドレス c-houshikai@boen.or.jp
- ・発表：最優秀、優秀及び佳作を広報紙「千鳥ヶ淵」8月号(終戦80年特集号)に掲載予定
- ・季刊「公募ガイド」(秋号、10月9日発売)にも応募要項を掲載

WEB「Koubo」  
<https://koubo.jp/>

#### 2 終戦80年募金

- ・目的：千鳥ヶ淵戦没者墓苑のリニューアル(施設・設備等)
  - ・一口：個人5千円、団体3万円
  - ・期間：令和6年7月1日から令和7年12月末日まで
  - ・郵便振替口座：記号・番号 00東京 00140-2-42556
  - ・「終戦80年募金」と明記して下さい。
- 公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会  
理事長 榊枝 宗男

### 墓苑便り(奉仕会だより)

11月~12月の献花の予定

- 古流 茂風流 大藤 茂風
- 国際華道如心流 新井 礼心
- 国際華道如心流 鈴木 淑峯
- 草翠流 関根 広草
- 松葉流古流 小田 美一
- 美風池坊 田中 陽

#### 6年度秋季慰霊祭の御礼

多くのご来賓、会員の方々にはご多用の中ご参列いただき感謝申し上げます。また、東京都隊友会のボランティア(71名)の皆様には、受付、案内、司会進行、救護、駐車場統制等の重要な職務を行っていただきました。お陰様で無事慰霊祭を終了することができました。紙面をお借りして御礼申し上げます。



集会用テント



一輪車



宝くじ桜



子宮がん検診車

## 宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。



「健康手帳」(冊子)



リスザル展示施設



救急普及啓発広報車



宝くじドリームジャンボ絵本



ベンチ



宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人 **日本宝くじ協会**  
<https://jla-takarakuji.or.jp/>



この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。